

第 62 回日本伝統工芸展広島展の開催を記念して、次のとおり講演会を開催します。

講師の福井禎先生（研究者としては福井貞子先生）は 緋 作家及び 緋 研究者として第一人者です。

最近では、2月16日（火）にNHK ラジオで全国放送された『明日へのことば』に出演されて「庶民の文化遺産 倉吉 緋」についてお話をされ、『美しい着物』No.255・2016年春号（2月20日発売）では「名もなき女性たちが祈りを込めた木綿緋の系譜」と題して論文を寄せられ、作品も紹介されています。

この機会にぜひ、福井先生の導きで緋の素晴らしさに理解を深めていただきますよう、御案内申し上げます。

## 第 62 回展記念講演会（広島県立美術館友の会共催）

### 「藍染木綿緋／倉吉緋の魅力～その伝統と創作～」 & 作品解説会

講師：福井 禎（染織作家、日本工芸会正会員、鳥取県無形文化財保持者）

日時：平成 28 年 2 月 28 日（日）10：30～12：00（開場 10：00）

場所：広島県立美術館地階講堂

定員：200 名（当日先着順、聴講無料。ただし、講演後の作品解説に参加の場合は入館券が必要です。）

緋と言えば木綿に藍染の紺緋。郷愁を感じさせる暖かな織物です。鳥取県の倉吉緋もその一つで、複雑で絵画的な意匠を精巧に織り出すところに特色があります。

講師は原初的な手技による糸紡ぎ、手括り、藍建、手織にこだわり、倉吉緋の伝統の上に創作活動を進めておられます。作家であると同時に緋文化の研究者でもあり、倉吉緋資料館を開設し、数多くの著作を上梓されてきました。

倉吉緋を始めとする藍染木綿緋の伝統と魅力、そこから生み出される講師の作品世界についてお話しいただきます。

講演に引き続き、展覧会場にて染織部門の作品解説をしていただきます。作品解説に参加する場合は、入館券が必要です。